

# 神戸大学「志」特別入試 の導入について



理事（入試・学生担当）

藤 井 勝

# 我が国の目指す入試改革の概要

(人材養成への社会的要請) <教育再生実行会議・第4次提言(平成25年10月)より>

グローバル化や少子高齢化のもとで、**国際的な信頼、存在感、経済力**などのある日本を持続・発展できる人材の養成

(大学教育における課題) <中教審答申(平成26年12月)より>

★高校・大学は、「生きる力」(=「豊かな人間性」+「健康・体力」+**「確かな学力」**)を育む教育を発展させる

①主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 (**主体性・協働性・多様性**)

②知識・技能を活用して、自らの課題を発見しその解決方法に向けて探求し、成果等を表現するために必要な**思考力・判断力・表現力**等の能力

③基礎となる**知識・技能**

★大学入試は、高校と大学の教育をつなぐために「確かな学力」等を適切に評価する

(大学入試改革の方向) <高大接続改革実行プラン(平成27年1月)および高大接続システム改革推進会議・最終報告(平成28年3月)より>

★各大学・学部のA Pにもとづいて、**学力の3要素(上記①②③)の多面的・総合的な評価・判定**

※評価のために、「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の結果、自らの考えに基づき論を立てて記述させる評価方法、高校時代の学習・活動履歴(調査書、活動報告書、各種大会や表彰等の記録、資格・検定試験の結果、推薦書等)、エッセイ、大学入学希望書理由書・学修計画書、面接・ディベート・集団討論・プレゼンテーション等を利用

★**平成33年度入試より**、現行の大学入試センター試験を廃止し、「**大学入学希望者学力評価テスト(仮称)**」を導入

※目的:主に「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の測定

★**新学習指導要領**下で学んだ高校生が受験する**平成37年度入試時点**には、さらに改革を深化

# 神戸大学の入試改革の概要

## (一般入試の改革)

- ★平成33年度入試の「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」開始と同時に、学力の3要素の多面的・総合的な評価を実施 → 具体的な方法等については現在検討中

## (特別入試＜A O・推薦＞の改革)

- ★1)大学入学者選抜実施要項（文部科学省高等教育局）の改正(平成27年5月)、2)国大協「国立大学の将来ビジョンに関するアクションプラン」（平成27年9月）などをふまえ、**一般入試改革に先行して実施**
- ★学力の3要素の多面的・総合的評価を徹底するために、一般入試では行えないような多様な学力評価の方法を導入し、特色のある学生を積極的に選抜
- ★主な道筋
  - ◎「志」特別入試（A O型、神戸大学アドミッションセンター利用）を平成31年度入試より新設（定員48名）  
→神戸大学の入試改革を先導 ※大学入試センター試験は利用しない
  - ◎従来から実施の特別入試（A O・推薦、大学入試センター試験利用）の改革の推進

## (入試改革事業への参画)

- ★平成28年度より文部科学省の委託事業（大学入学者選抜改革推進委託事業）に参加し、とくに入試における「主体性・多様性・協働性」に関する評価手法を他大学と共同して開発中

# 「志」特別入試とは

入試のタイプ：A O（アドミッション・オフィス）入試

開始の時期：平成31年度入試（平成31年度入学の学生選抜、実施は平成30年度）より

定員：全学で48名（7学部）

求める人材：各学部・学科等のアドミッションポリシーに明示

入試の方法：第1次選抜（アドミッションセンターによる選抜）

◎書類審査、模擬講義・レポート、総合問題

※文系・理系を分けて実施

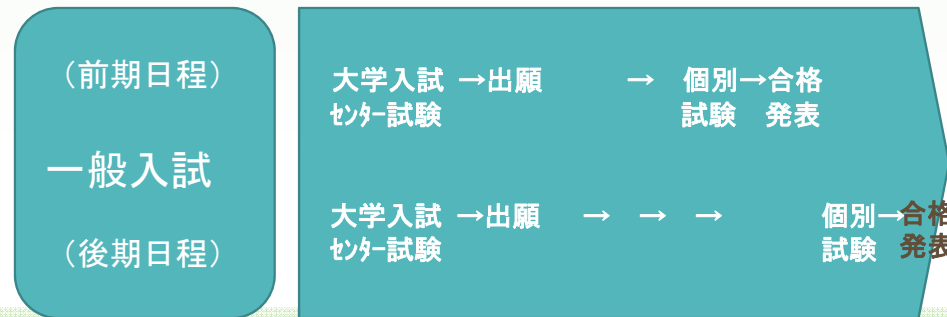
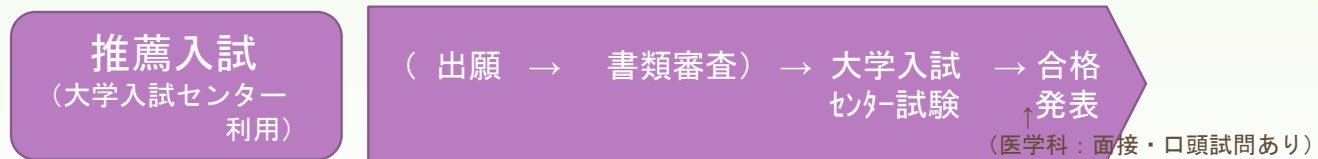
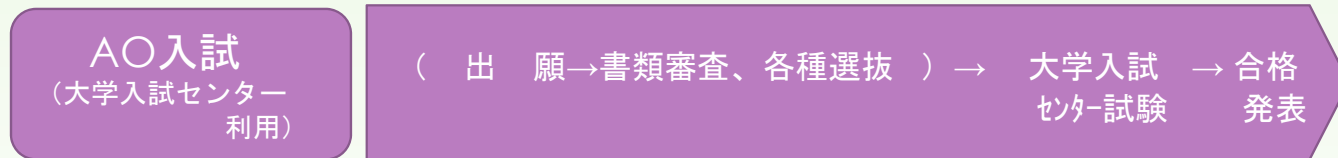
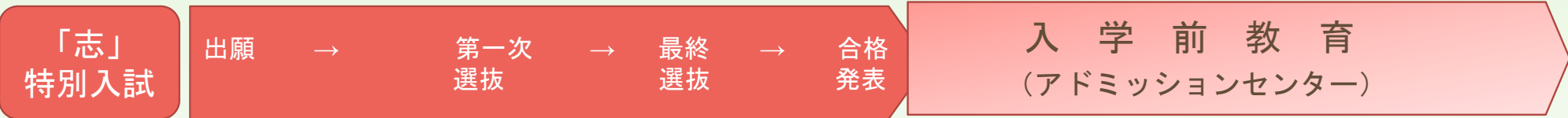
最終選抜（各学部・学科等による選抜）

◎面接、口頭試問、プレゼンテーション、小論文、実習、実技など



受験者ひとりひとりの学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・多様性・協働性）を多面的・総合的に評価・判定して、入学者を選抜

# 「志」特別入試の日程



# 「志」特別入試の定員の内訳

学部	学科	専攻・コース	募集人員
文学部	人文学科		3名
国際人間科学部	環境共生学科		5名
法学部	法律学科		3名
医学部	保健学科	看護学専攻	2名
		検査技術科学専攻	2名
		理学療法学専攻	2名
		作業療法学専攻	2名
工学部	建築学科		2名
	市民工学科		2名
	電気電子工学科		2名
	機械工学科		2名
	応用化学科		2名
	情報知能工学科		2名
農学部	食料環境システム学科	生産環境工学コース	2名
		食料環境経済学コース	2名
	資源生命科学科	応用動物学コース	1名
		応用植物学コース	1名
	生命機能科学科	応用生命化学コース	1名
環境生物学コース		3名	
海事科学部	グローバル輸送科学科	航海マネジメントコース	5名
		ロジスティックスコース	1名
	海洋安全システム科学科		1名
合計			48名

\* そのほか予定されている入試改革の例

●理学部は、多面的・総合的評価によるAO入試（大学入試センター試験利用）を、平成31年度入試より導入予定（定員：生物学科3名、惑星学科2名）

●国際人間科学部は、現行のAO・推薦入試（大学入試センター試験利用）の一部を平成31年度入試より多面的・総合的評価へ移行予定（定員：環境共生学科若干名〔AO〕、グローバル文化学科10名〔推薦〕）



# (参考) 神戸大学の平成29年度入試

\* ( ) 内は定員

「志」特別入試 (48)  
<平成31年度入試より導入>

## AO入試 (大学入試センター試験利用)

国際人間科学部 (41)、医・医学科 (10)  
海事科学部 (10)

試験：書類審査、各種選抜  
(学部・学科ごとに多様)

大学入試センター試験

## 推薦入試 (大学入試センター試験利用)

国際人間科学部 (10)、経済学部 (70)  
経営学部 (40)、医・医学科 (10)  
農学部 (5)、海事科学部 (3)

試験：大学入試センター試験  
書類審査 (医学科は面接・口述試験もあり)

## 一般入試 (前期日程)

全学部 (総定員1905名)

試験：大学入試センター試験  
個別学力試験

## 一般入試 (後期日程)

8学部 (総定員417名)

\* 経済、経営、医・医学科は実施せず  
試験：大学入試センター試験  
個別学力試験

※このほか、社会人特別入試、私費外国人(留)学生特別入試もあり

## 「志」特別入試の特徴（まとめ）

○高い志をもって社会に貢献できる学生を選抜する。

→神戸大学が目指す人材育成に対して好影響をもたらす。

○今日の大学入試改革がめざしている、学力の3要素の多面的・総合的評価を神戸大学で本格的に実施する。

→神戸大学の入試改革を先導し、今後の入試改革によい効果をもたらす。

○大学入試センター試験を課さず、基礎的学力に関する試験は本学のアドミッションセンターで行う。

→合格発表が11月末頃までには出されるので、不合格になった受験生は時間的な余裕をもって一般入試にむけた準備ができる。

→合格者は、12月より神戸大学アドミッションセンターが行う入学前教育を受けられるので、大学教育への移行が容易になる。